

「佐久市内医療提供体制」に関する アンケート調査報告書及び前回比較書

(平成27年10月20日～11月9日調査)

佐 久 市

I 調査の設計

1 今回調査の目的

佐久医療センターは、紹介型の病院として本年「地域医療支援病院」の認定が得られました。一方、佐久医療センターがその機能を十分に果たすためには、「医療機関の役割分担と連携」や「患者である地域住民の理解と協力」が不可欠となります。

こうした中で、平成24年度と平成25年度に、アンケート調査を実施しており、この結果を基に、懇話会の構成機関において、それぞれ広報活動を行い、市においても「まちづくり講座」の開催や広報誌等を通じて周知を図ってきました。

また、佐久医療センターが開院して1年余りを経過した中で、市内の医療提供体制について、住民の理解度をアンケート調査することにより、直近の市民意識を調査、検証し、今後の広報活動や地域医療体制を構築するためのデータとして活用していくことを目的とします。

2 今回アンケート調査の設計

- 調査対象 市内に住所を有する16歳以上の男女1,000人。住民基本台帳から無作為抽出。
- 調査方法 郵送配布・回収
- 調査期間 平成27年10月20日～平成27年11月9日
- 調査項目
 - 医療情勢に関する認識について
 - 医療機関の役割分担について
 - 佐久総合病院再構築について
 - その他意見等
- 有効回答 450人（回答率 45.0%）

3 前回アンケート調査の設計

- 調査対象 今回と同様
- 調査方法 今回と同様
- 調査期間 平成25年11月6日～平成25年11月26日
- 調査項目 今回と同様
- 有効回答 432人（回答率 43.2%）

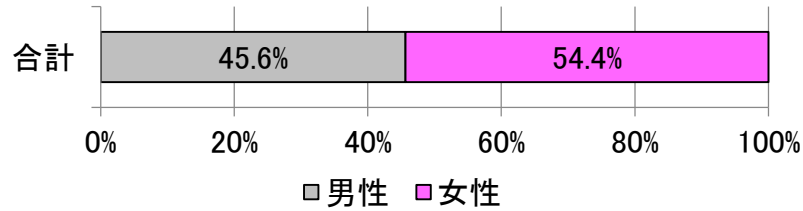
<注>報告書のパーセント数字は小数点第2位を四捨五入。合計が100にならない場合があります。無回答数は、入れないで計算しています。

II 調査結果及び前回比較

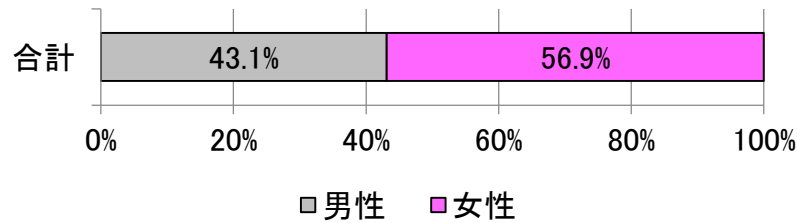
《基本属性》

設問1 あなたの性別をお答えください。

〔今回 H27〕



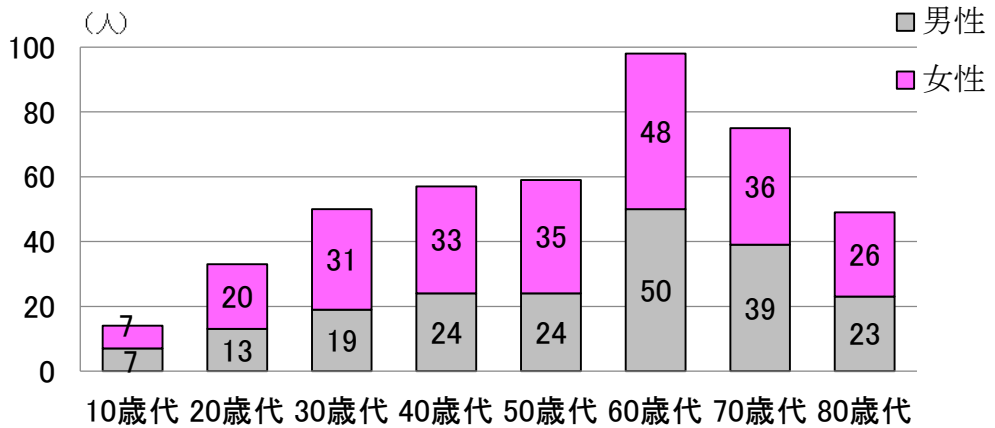
〔前回 H25〕



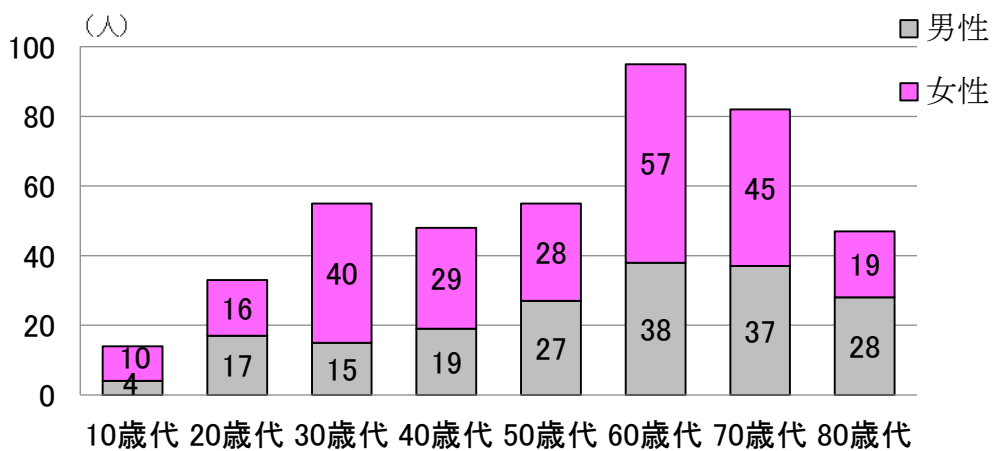
今回は、男性の回答者が2.5%増えました。

設問2 あなたの年齢をお答えください。

〔今回 H27〕



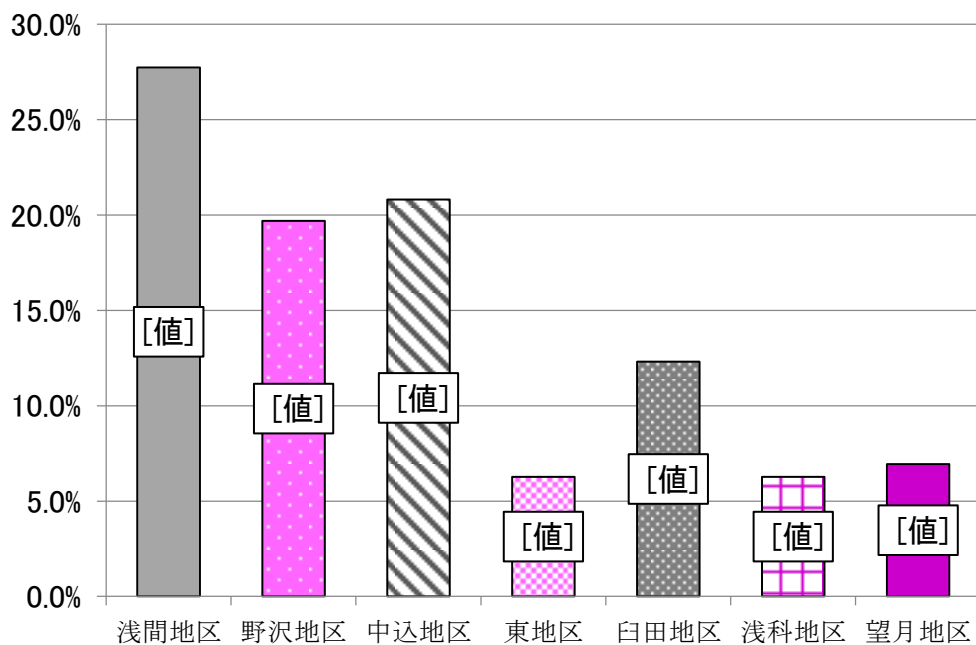
〔前回 H25〕



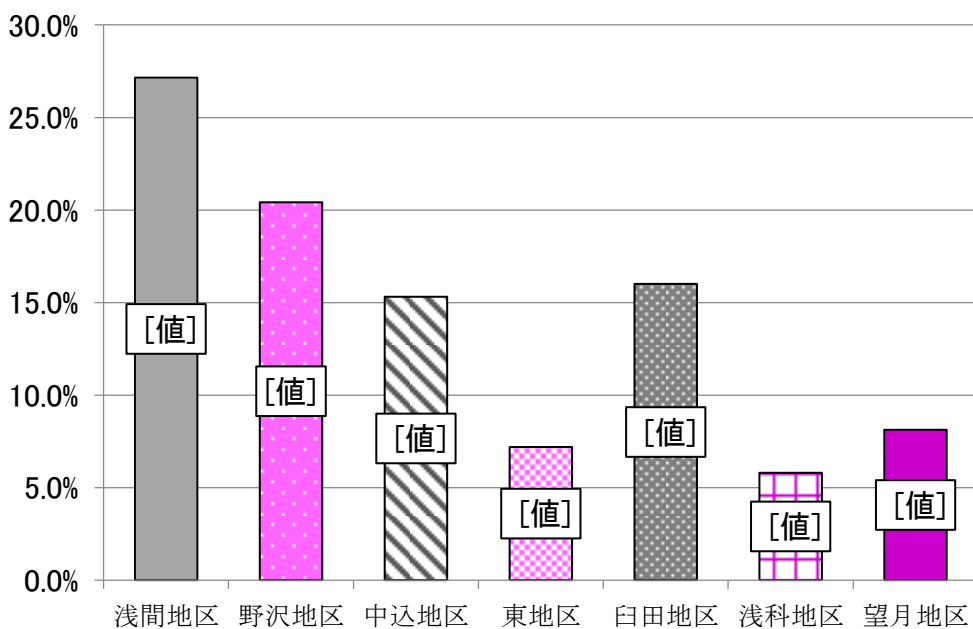
今回は、前回と同様に60歳代70歳代の回答が多く、若年層程少ない回答結果となりました。

設問3 あなたのお住まいの地区をお答えください。

〔 今回 H27 〕



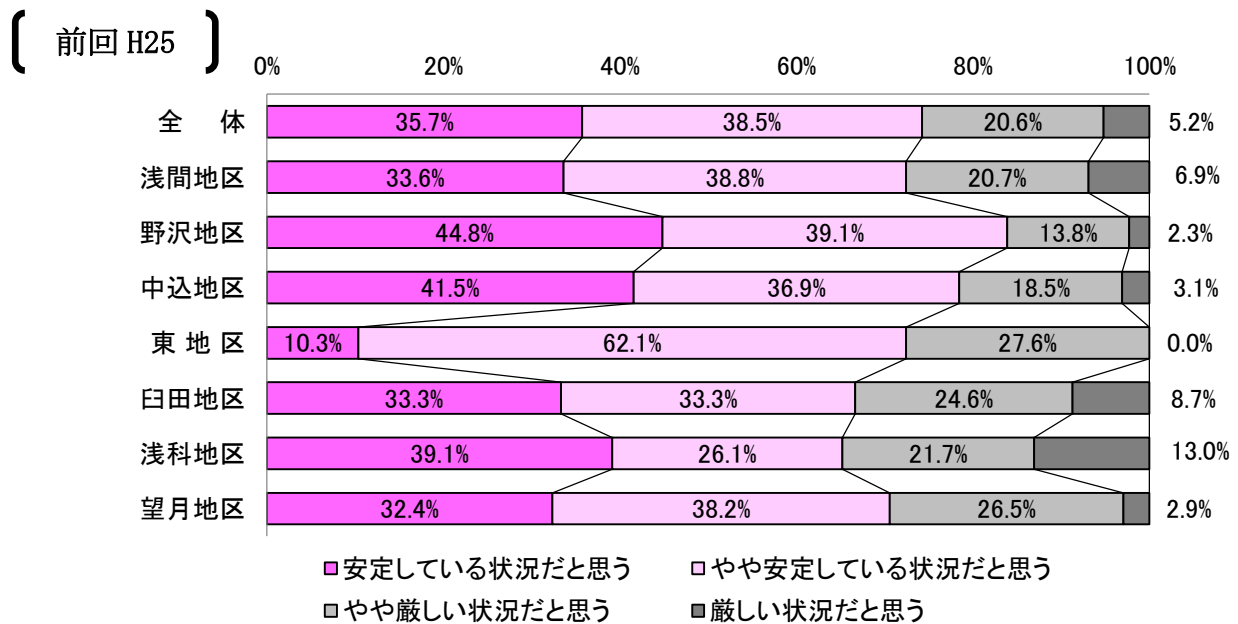
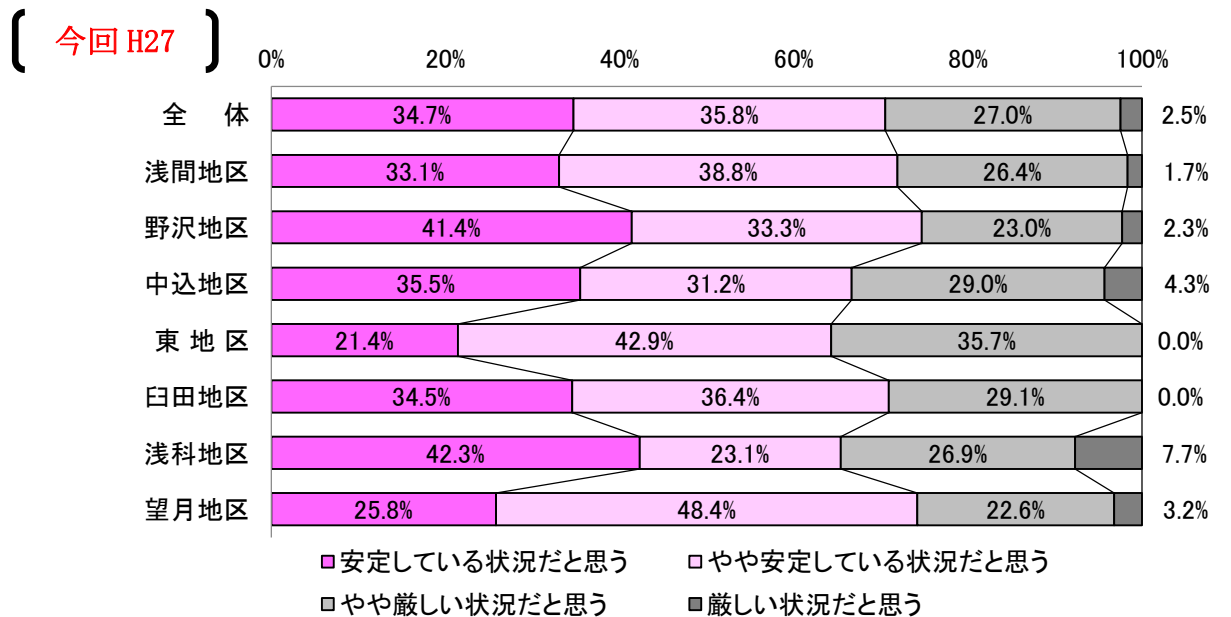
〔 前回 H25 〕



今回は、中込地区が 5.5%増、白田地区が 3.7%増、浅間地区が微増、他の地区は微減の回答となりました。

《医療情勢》

設問4 佐久地域の医療状況を、どのように感じていますか。



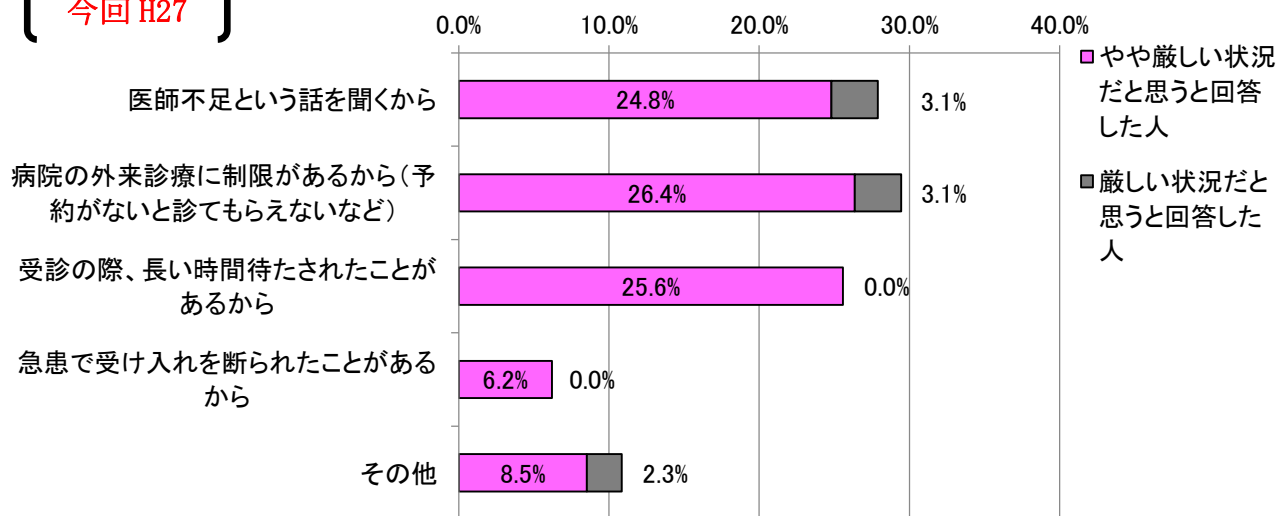
今回は、佐久地域の医療状況が全体として、「安定している」「やや安定している」の合計70.5%と前回の74.2%と比較して、3.7%減となりました。また、「厳しい」が2.7%減でしたが、「やや厳しい」は6.4%の増となりました。

また、地区別の「安定している」「やや安定している」の回答で比較してみると、浅間地区、浅科地区はほぼ同数で、前回高かった野沢地区は、9.2%減、中込地区が11.7%減、東地区が8.1%減となり、臼田地区が4.3%増、望月地区が3.6%増となりました。

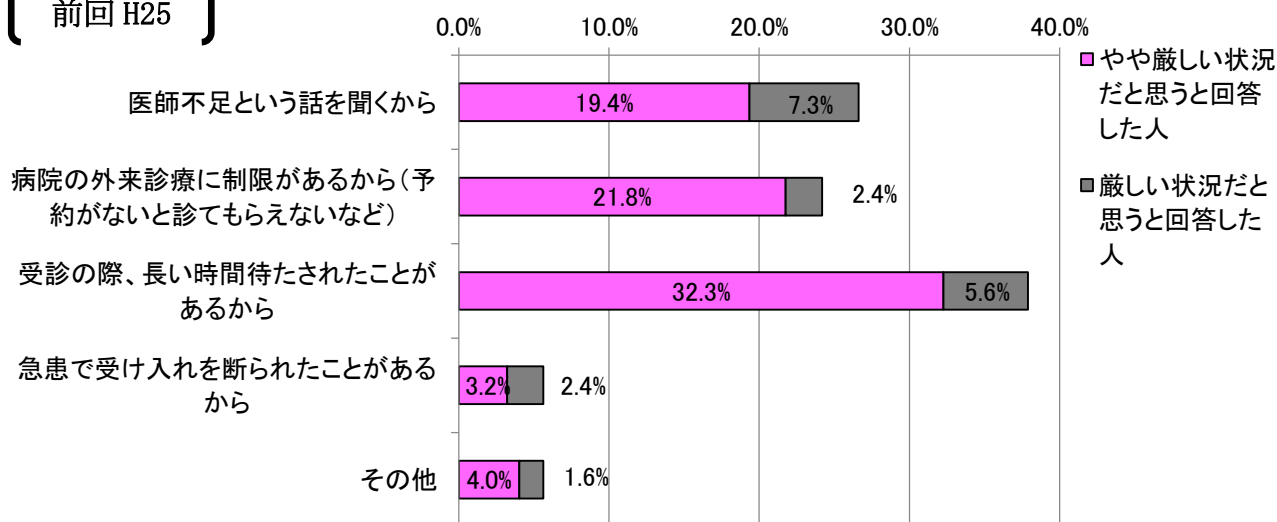
これは、旧佐久地域で減少し、旧町村地域で増加となり、地区ごとのばらつきは解消されてはいますが、市全体としての医療は佐久地域の医療は「やや厳しい状況にある」との評価が増えた結果となりました。

設問5 設問4で「やや厳しい状況だと思う。」「厳しい状況だと思う。」と回答された方に伺います。なぜ、医療情勢が厳しいと感じましたか。（最も当てはまると思われるものを1つ選んでください。）

〔 今回 H27 〕



〔 前回 H25 〕



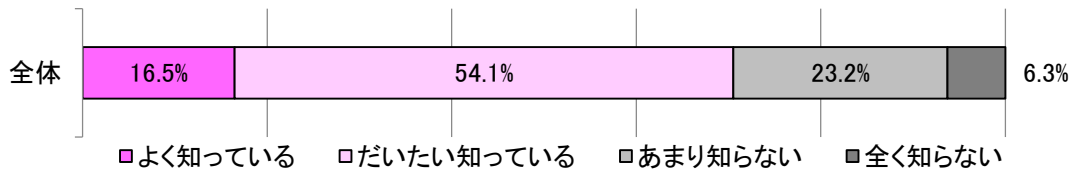
今回は、佐久地域の医療情勢が厳しい状況だと感じる理由として、延べ回答 129 名の内、「医師不足という話を聞くから」が 3 名増、「病院の外来診療に制限があるから」が 8 名増、前回最も多かった「受診の際、長い時間待たされたことがあるから」が 9 名減、「急患で受け入れを断られたことがあるから」が 1 名増となりました。

その他の意見としては、「産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科などの不足による病院の診療態勢への不安」「救急時の医療機関の対応の遅さや受け入れを断られることへの不安。」「中心部（都市部）と周辺部（村部）との医療格差への不安」「病院やかかりつけ医で、信頼して相談できる医師がいないことへの不安」等でした。

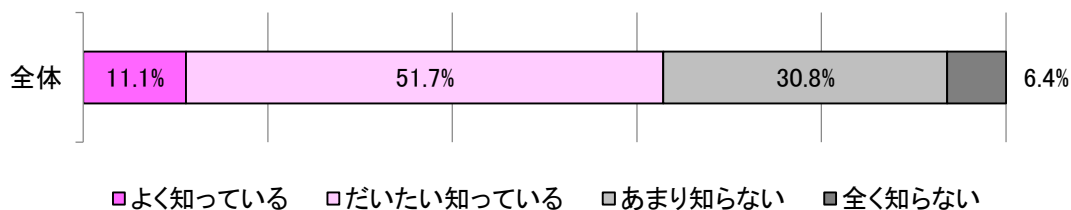
《医療機関の役割分担について》

設問6 医療の高度化・専門化が進む中で医療の安定化を図るためには、医療機関は、明確な役割分担により医療提供を行い、患者さんも症状により医療機関を選んでいただくことが必要となってきますが、こうした状況にあることをご存知ですか。

〔 今回 H27 〕



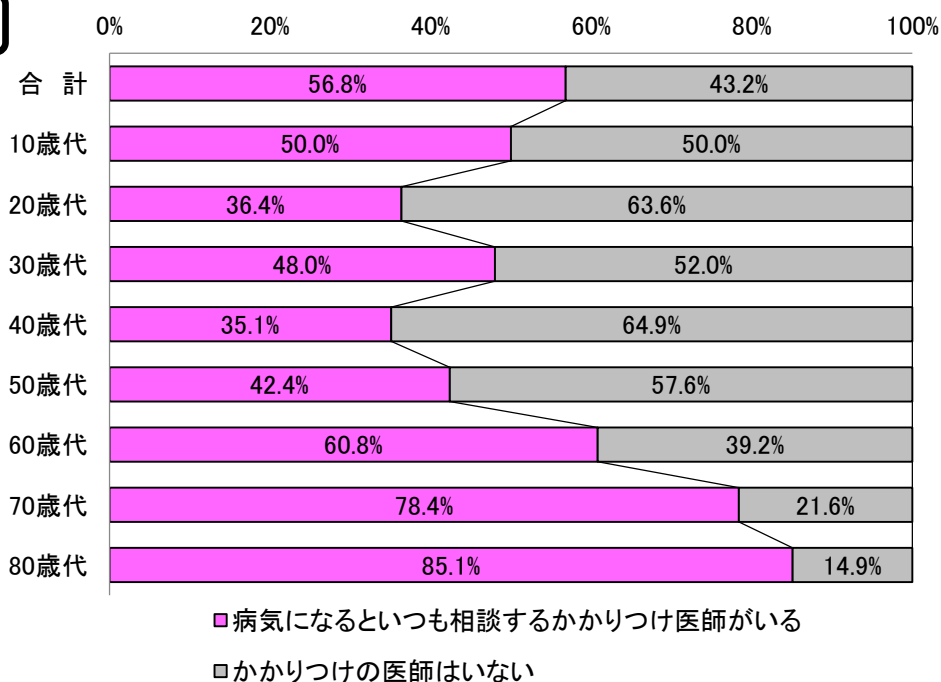
〔 前回 H25 〕



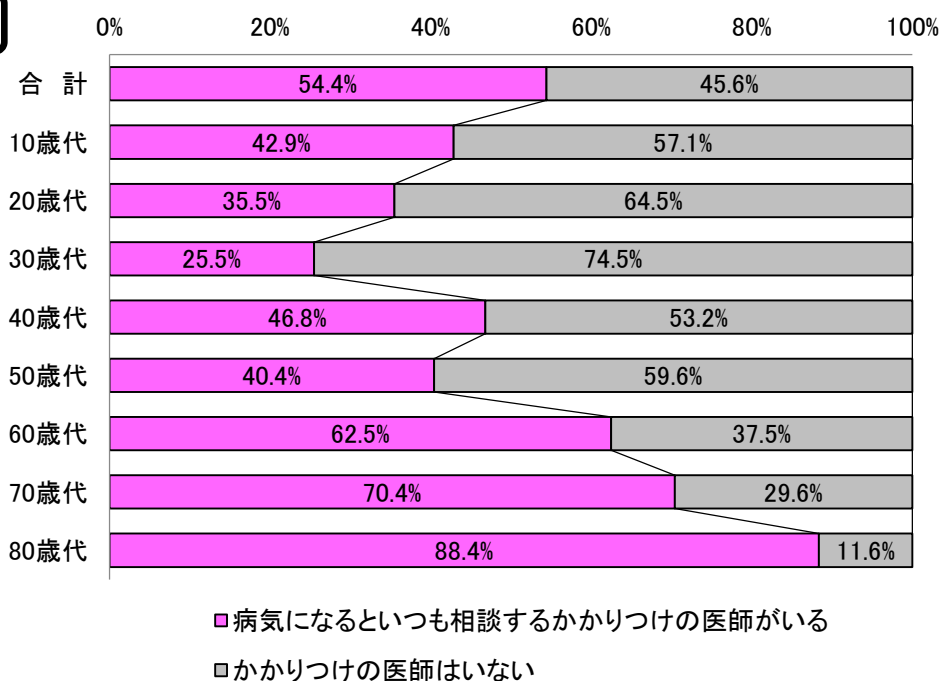
今回は、医療機関の役割分担や、患者は症状により医療機関を選ぶ必要があることについて、「よく知っている」が5.4%増、「だいたい知っている」が2.4%増で合計すると70.6%で、前回の62.8%から7.8%増と約7割の方が承知されている結果となりました。

設問7 あなたは現在、「かかりつけ医」をお持ちですか。

【 今回 H27 】



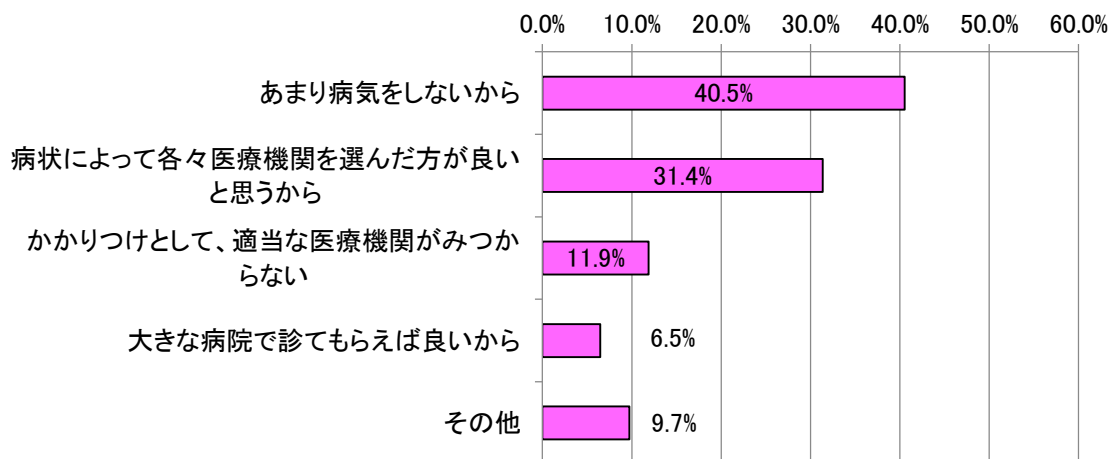
【 前回 H25 】



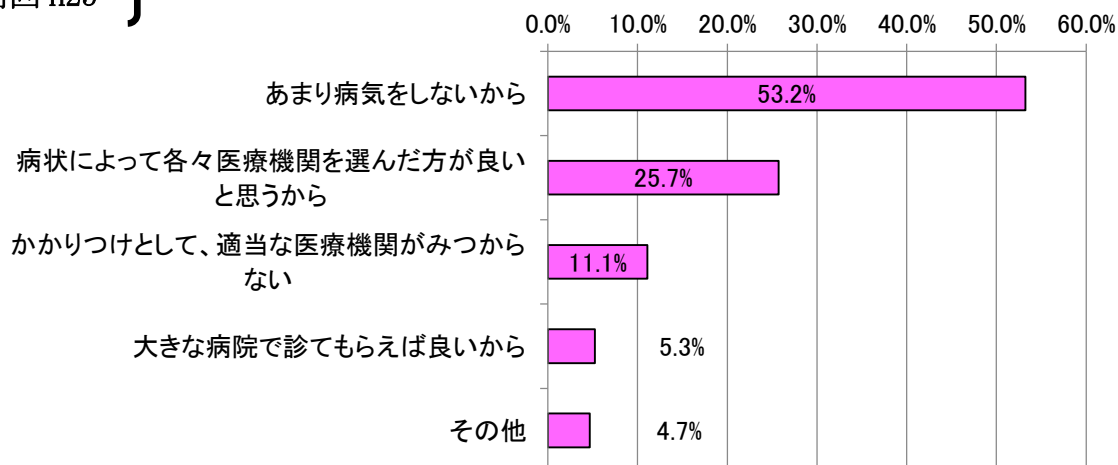
今回は、「かかりつけの医師はいない」と回答された方が43.2%と前回の45.6%と比較して2.4%減となり、依然として全体の約半数を占める結果となりました。
 年代別でみると20歳代から50歳代の働き盛りの約6割が「かかりつけ医師はいない」と回答しています。

設問8 設問7で「② かかりつけの医師はいない。」と回答された方に伺います。かかりつけの医師がない理由について教えてください。（最も当てはまると思われるものを1つ選んでください。）

〔 今回 H27 〕



〔 前回 H25 〕



今回は、かかりつけの医師がない理由を前回と比較して、「あまり病気をしないから」が前回171名中91名(53.2%)から今回185名中75名(40.5%)と16名減、「病状によって各々医療機関を選んだ方が良いと思うから」が58名で14名増、率で25.7%から31.4%に増加した。「かかりつけとして、適当な医療機関が見つからない」が22名で3名増、「大きな病院で診てもらえば良いから」が12名で3名増という結果になりました。

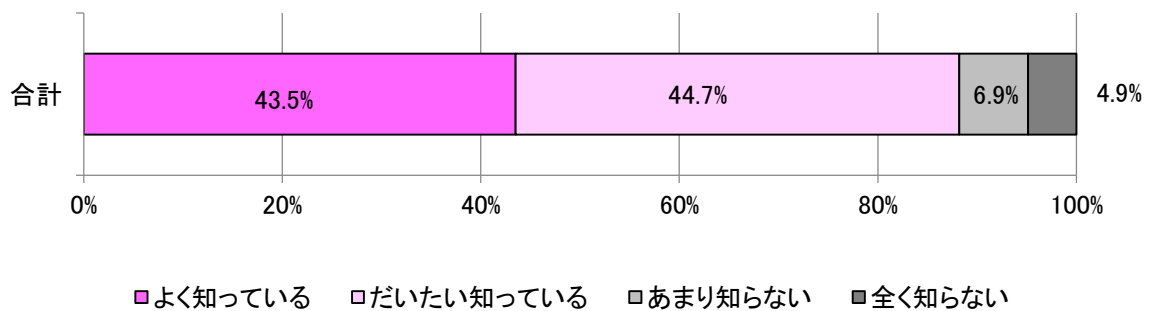
その他の意見では、「どこをかかりつけ医としたら良いか分からない。」「熱心に診てくれる医師がない。」「長時間待たされ診察時間も短く病状などを相談できる雰囲気ではない。」等でした。

《佐久総合病院再構築》

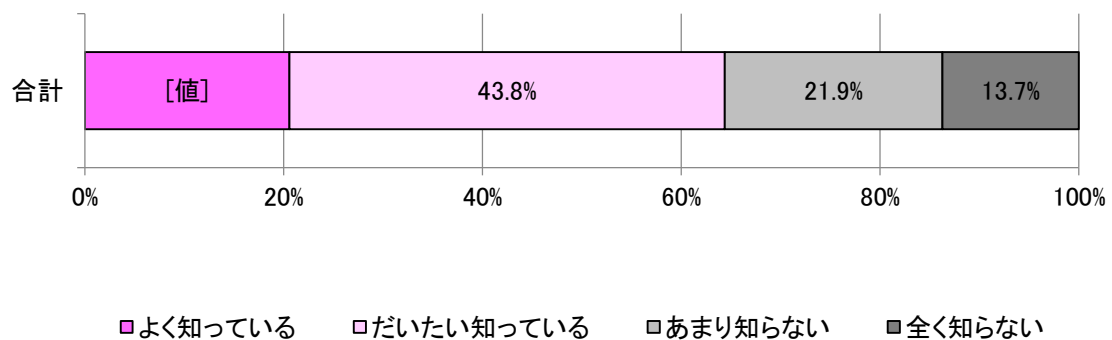
設問9 佐久医療センターが「紹介型の病院」※ であることをご存知ですか。

※ 紹介型病院・・・一般的には難しい「診断」や「治療」を行い、地域の医療機関から紹介された患者さんに専門医が協力をして治療にあたる病院で、基本的に、救急以外は、紹介状をお持ちの患者さん等を中心に診療を行う病院。

〔 今回 H27 〕



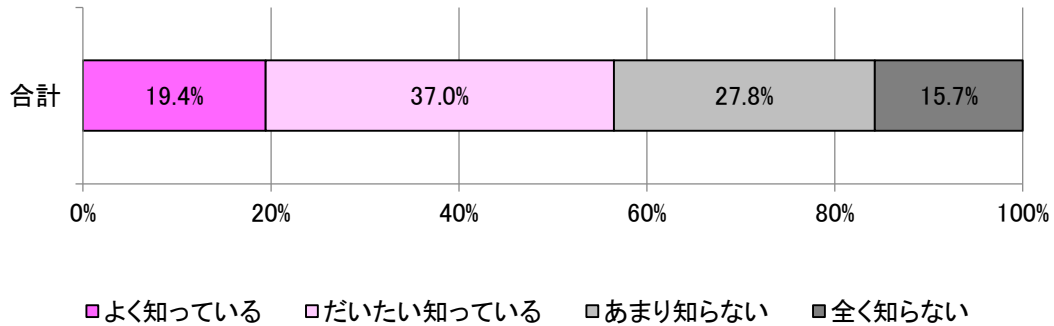
〔 前回 H25 〕



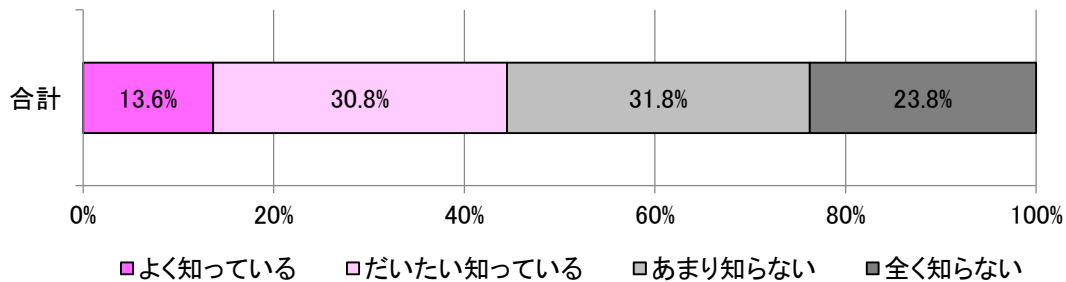
今回は、佐久医療センターが「紹介型の病院」であることを「よく知っている」「だいたい知っている」の合計が88.2%と前回と比較して23.8%増となり約9割の方が承知されている結果となりました。

設問10 「佐久医療センター」に「紹介状を持たない患者さん」が来院された際には、「病状を見極めた上で、適切な医療機関を紹介される。」こととなりますが、このことをご存知ですか。

〔 今回 H27 〕



〔 前回 H25 〕

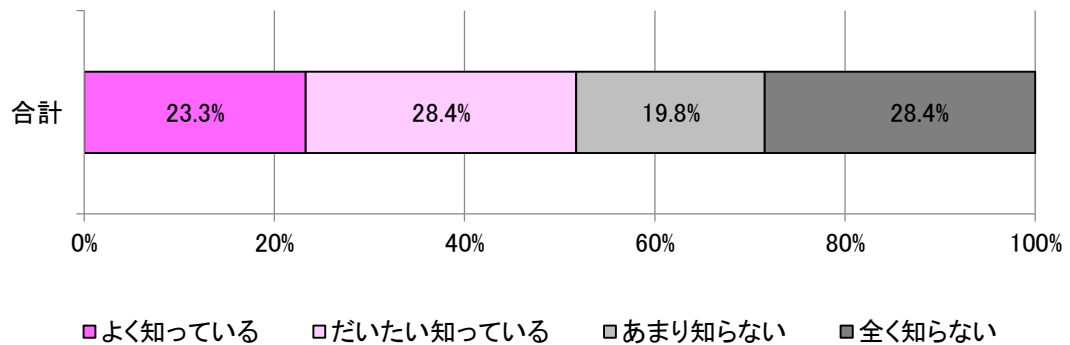


今回は、佐久医療センターに「紹介状を持たない患者さん」が来院された際には、「病状を見極めた上で、適切な医療機関を紹介される。」ことを「よく知っている」「だいたい知っている」の合計が56.4%と前回と比較して12.0%増となりましたが依然半数近くの方が承知されていない結果となりました。

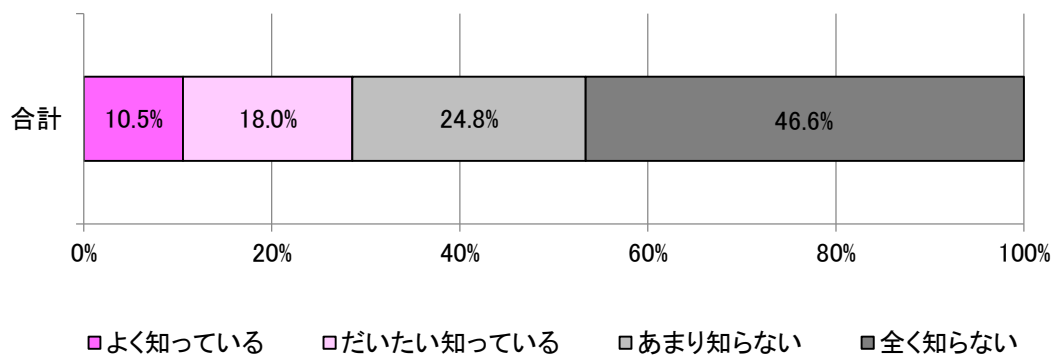
設問 1 1 「かかりつけ医」からの紹介状を持たずに佐久医療センターを受診した場合は、「初診時保険外併用療養費」※ が別途加算されることをご存知ですか。

※ 初診時保険外併用療養費・・・「初期の治療は地域の医院・診療所などで行い、高度・専門医療は大病院で行う」という、医療機関の機能分担の推進を目的に国が定めた制度で、200床以上の病院で紹介状を持たずに受診した初診の患者さんに対し、課すことのできる費用です。

〔 今回 H27 〕



〔 前回 H25 〕

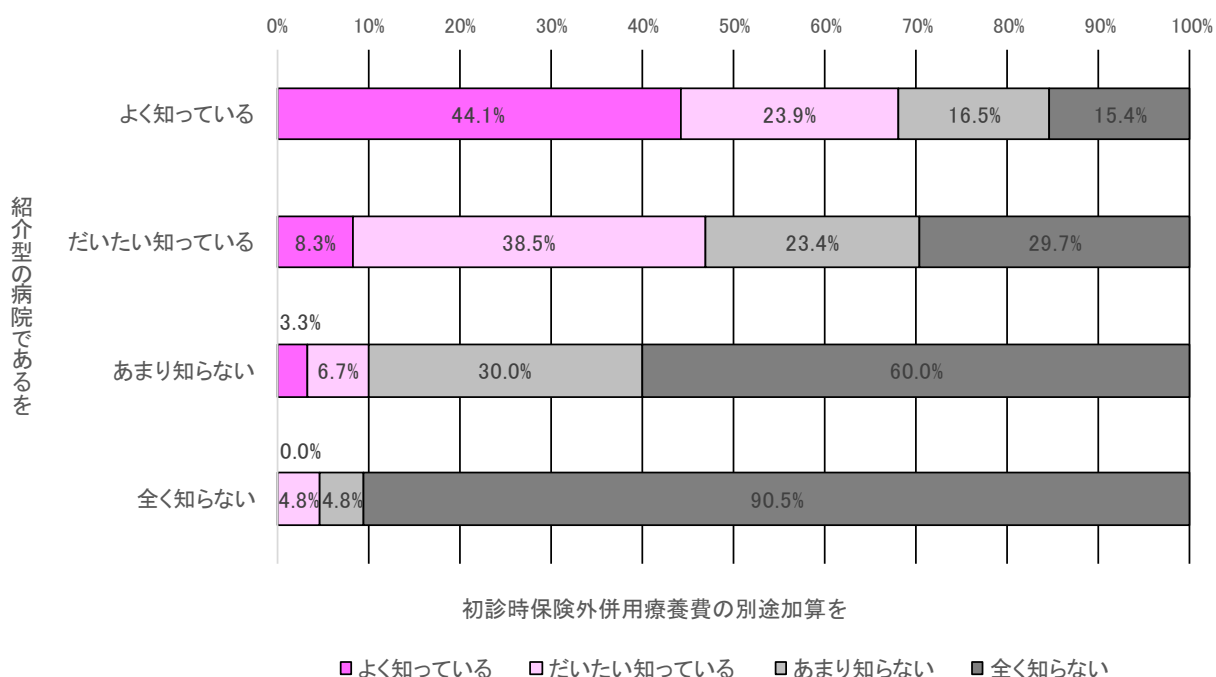


今回は、「かかりつけ医」からの紹介状を持たずに佐久医療センターを受診した場合は、「初診時保険外併用療養費」が別途加算されることを「よく知っている」「だいたい知っている」の合計が51.7%で、前回と比較して23.2%の増となり、「全く知らない」が28.4%で、前回より18.2%の減となりましたが、依然半数近くの方が承知されていない結果となりました。

設問11〔内訳〕

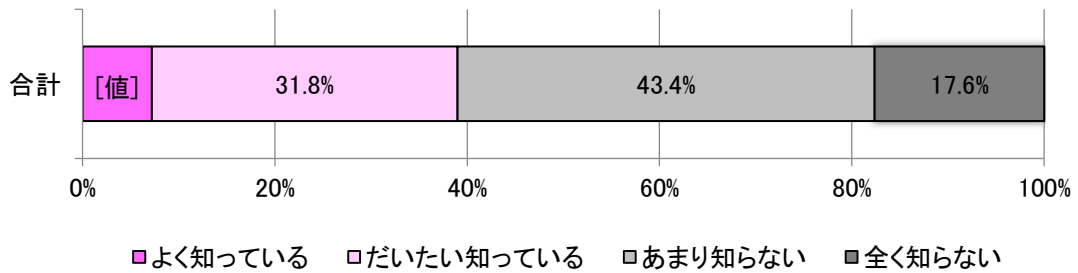
設問9 佐久医療センターが「紹介型の病院」であることをご存知ですか。の各回答に対する、設問11「かかりつけ医」からの紹介状を持たずに佐久医療センターを受診した場合は、「初診時保険外併用療養費」が別途加算されることをご存知ですか、の分類。

		設問11 初診時保険外併用療養費の別途加算を								合 計	
		よく知っている		だいたい知っている		あまり知らない		全く知らない			
設問9		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
紹介型の病院であるを	よく知っている	83	44.1%	45	23.9%	31	16.5%	29	15.4%	188	100.0%
	だいたい知っている	16	8.3%	74	38.5%	45	23.4%	57	29.7%	192	100.0%
	あまり知らない	1	3.3%	2	6.7%	9	30.0%	18	60.0%	30	100.0%
	全く知らない	0	0.0%	1	4.8%	1	4.8%	19	90.5%	21	100.0%
合 計		100	23.2%	122	28.3%	86	20.0%	123	28.5%	431	100.0%

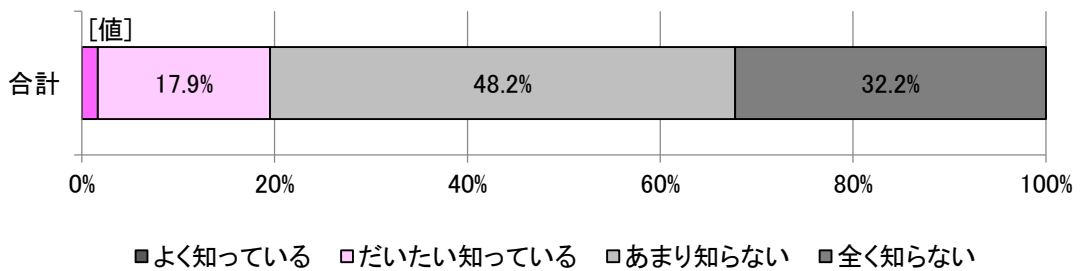


設問 1 2 佐久総合病院は、平成 2 6 年 3 月 1 日より中込の「佐久医療センター」と臼田の「佐久総合病院（本院）」とに分かれて医療提供が行われていますが、それぞれの病院では具体的にどのような診療が行われるか（どのような診療科があるか）ご存知ですか。

〔 今回 H27 〕



〔 前回 H25 〕

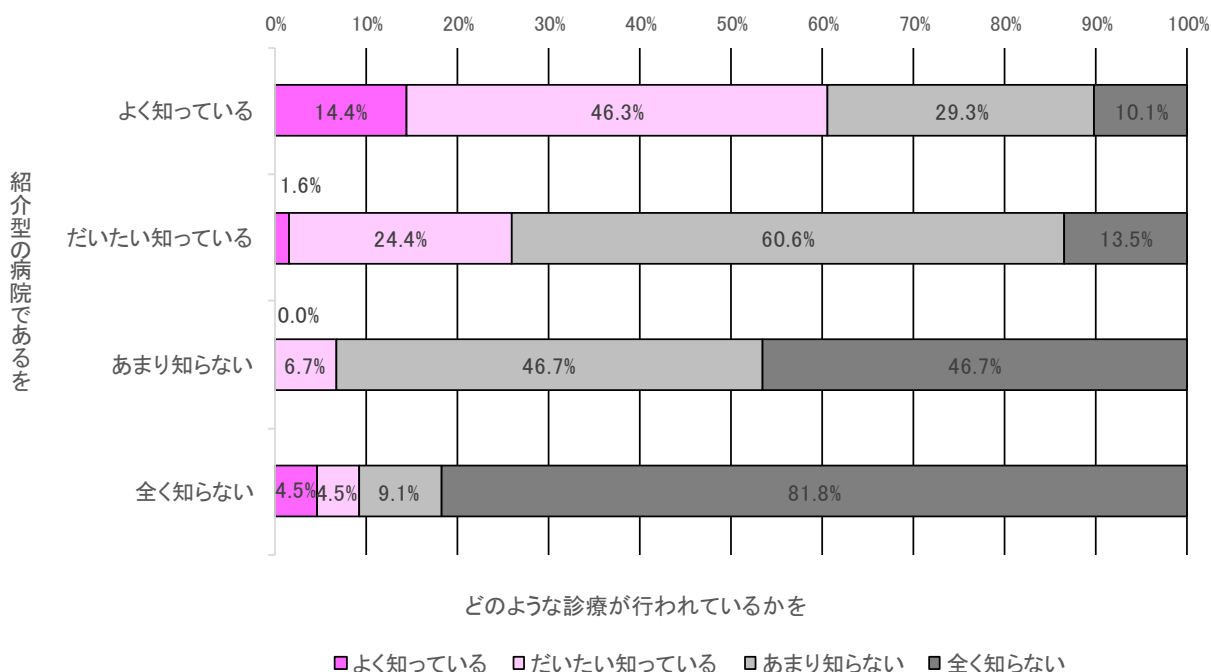


今回は、「佐久医療センター」と「佐久総合病院（本院）」での具体的な診療について「よく知っている」「だいたい知っている」の合計が 39.0%と前回と比較して 19.5%の増となり、「全く知らない」は、17.6%と前回より 14.6%の減となりましたが、「あまり知らない」を含めて依然約 6 割の方が承知されていない結果となりました。

設問12〔内訳〕

設問9 佐久医療センターが「紹介型の病院」であることをご存知ですか。の各回答に対する、設問12佐久総合病院は、平成26年3月1日より中込の「佐久医療センター」と臼田の「佐久総合病院(本院)」とに分かれて医療提供が行われていますが、それぞれの病院では具体的にどのような診療が行われるか(どのような診療科があるか)ご存知ですか、の分類。

		設問12 どのような診療が行われているかを								合 計	
		よく知っている		だいたい知っている		あまり知らない		全く知らない			
設問9		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
紹介型の病院であることを	よく知っている	27	14.4%	87	46.3%	55	29.3%	19	10.1%	188	100.0%
	だいたい知っている	3	1.6%	47	24.4%	117	60.6%	26	13.5%	193	100.0%
	あまり知らない	0	0.0%	2	6.7%	14	46.7%	14	46.7%	30	100.0%
	全く知らない	1	4.5%	1	4.5%	2	9.1%	18	81.8%	22	100.0%
合 計		31	7.2%	137	31.6%	188	43.4%	77	17.8%	433	100.0%



【まとめ】

平成 25 年 11 月に佐久市医療体制等連絡懇話会と佐久市において実施しましたアンケート調査と比較をすると、佐久地域の医療状況は、医師不足から厳しいと感じている市民が多く、病院の外来診療に制限があることも厳しい状況にあると感じている市民がいます。医療機関の役割分担については、その必要性を理解している方は 7 割である一方、かかりつけ医を持たない人は 20 歳代から 50 歳代の約 6 割に上り、医療機関とのつながりが希薄で、病状によって医療機関を選んだ方が良いと思うなどの傾向が強いほど、かかりつけ医の必要性への関心が薄いことが伺えます。

佐久総合病院再構築については、「佐久医療センターが紹介型の病院である」ことについて「よく知っている」または「だいたい知っている」と回答された方が約 9 割を超えており市民への周知が図られていると言えます。また、「紹介状を持たない患者さんを適切な医療機関を紹介する」ことについて「よく知っている」または「だいたい知っている」と回答された方は増加したものの、依然半数近くの方が承知されていない。また、「初診時保険外併用療養費」が追加加算されることについて、「全く知らない」や「あまり知らない」と回答された方が前回の約 7 割から 23.2%減となったが依然半数の方が承知されていない。「佐久医療センターと佐久総合病院（本院）の診療科」については、「全く知らない」や「あまり知らない」が、前回の約 8 割から 19.4%減となったが依然約 6 割の方が承知されていない。ということを確認し、今後もっと周知を図っていかなければいけない課題と考えております。